



# 大森二中だより

令和3年度 大森二中の合言葉「思いやり」  
スローガン 笑顔満開 いつも心に太陽を！

令和3年11月号  
大森第二中学校  
校長 成清敏治  
電話 3762-6456

## 「正念場」…自分の記録を塗り替えること

「正念場」の意味は、歌舞伎や浄瑠璃などで、主人公がその役柄の本質的性格（性根）を発揮させる最も重要な場面のことです。そのことから、その人の真価が問われる大事な局面を「正念場」といいます。まさしく今ですね。これと似たような言葉で「土壇場」があります。「土壇場」は、せっぱつまった、進退がきわまった場面。この2つの言葉は実は正反対の言葉です。「正念場」は自分の成長がかかる機会です。重要なのですが、「土壇場」はもしかしたら立ち直ることができないかもしれない状況です。ここには大きな違いがあります。できれば「土壇場」に追い込まれる状況は避けたい。だからこそ、「正念場」の時に自分の力が発揮できるよう努力することが大事です。

そこで「正念場」の話に戻ります。最初に話したように、その人の真価が問われる、それも性根（性格）が重要な役割をもっています。自分の性格を振り返ってみてください。あきらめない、粘り強いという人がいれば、集中できない、あきらめやすいという人もいます。その性格が今まで取り組んできた長い積み重ねによって、大半の状況を作ってきました。それが現実というものです。だからといって、まだあきらめるのは早い。「土壇場」になる前に取り返せる時間が十分にあるのも事実です。

有名な経営者であるピーター・ドラッカーという人は、こう言っています。

「大きな成果を出す人は、予防的に物事を考えている」この言葉の意味は、どうにもならない状況を避けるために、事前の努力を最大限していくことが、大きな成果を出す近道だ、ということを教えてください。

では「正念場」で結果を出すために必要なことは何でしょう。大リーグで偉大な記録を残しているイチロー選手の言葉がその本質を言い当てています。

「他人の記録を塗り替えるのは、7割か8割の力でも可能ですが、自分の記録を塗り替えるには、10割以上の力が必要です」と。自分の記録を塗り替えることです。他人と比較するのではなく、常に自分と向き合う、自分と格闘することが大事なことを教えてください。

ここからが「正念場」です。最後の最後に追い詰められて、プレッシャーがかかって実力が発揮できないような「土壇場」にならないよう、「今から、ここから」決意して頑張っていきましょう！（全校朝礼 11月8日）

### 今後の学校行事について

11月12日（金）まで 授業公開週間

※土曜日は新入生保護者会

11月17日（水）～ 19日（金） 第3回定期考査

12月 2日（木）～ 9日（木） 全校三者面談

